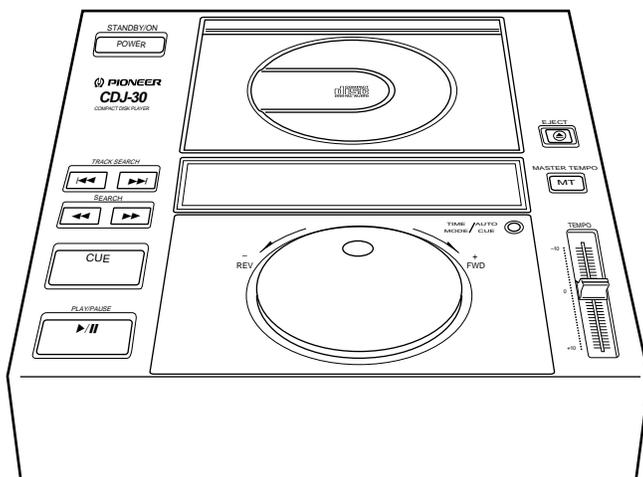


取扱説明書

コンパクトディスクプレーヤー

CDJ-30



このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくためにご使用前にこの取扱説明書と安全上のご注意を最後までお読みください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになった後は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。

使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。



目次

安全上のご注意	2	オートキュー機能をオン/オフするには	9
設置上のご注意	3	オートキュー機能をオフした場合の再生操作	9
ディスクの取り扱いについて	3	応用操作	10
特長	4	キューポイントの設定	10
接続のしかた	5	2台のプレーヤーを使った曲つなぎ	11
各部の名称と働き	6	2台のプレーヤーを使ったリレープレイ	12
基本操作	8	DJミキサーによる本機の操作	12
基本再生操作	8	ラックへの据え付け	13
演奏を終了するには	8	故障? ちょっと調べてください	14
演奏を一時停止するには	8	仕様	15
曲の頭出しをするには	8	保証とアフターサービスについて	16
フレーム単位で頭出しするには	9		
早送り/早戻しをするには	9		

使用上の注意

接続

各部の説明

基本操作

応用操作

故障?

仕様

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上のご注意

警告

〔異常時の処置〕

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



プラグを抜け



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜け

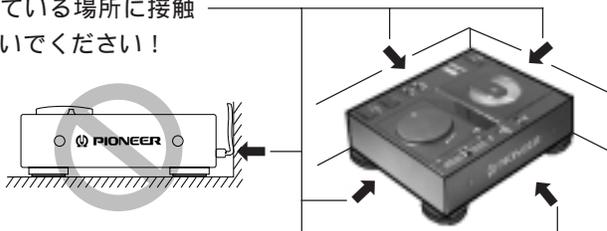


設置上のご注意

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライト等の近傍で長時間使用すると、ディスクや本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- スピーカーの近くなど、大音量の環境で使用すると音飛びを生じることがあります。このような場合にはスピーカーから離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。また、下記のようなことに注意して設置してください。

本機は製品の脚部分に防振効果があります。プレイする状態ではプラスチックパネルやオーディオコード、電源コードが振動している場所に触れないように設置してください。振動が製品の脚部以外から伝わると、音飛びの原因となる場合があります。

振動している場所に接触させないでください!



結露について



本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。このような場合には1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

使用上の注意

製品のお手入れについて



通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5~6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など

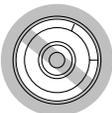
が付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

■CDレンズクリーナーについて

ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは「アフターサービスについて」(裏表紙)をお読みのうえ、修理をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもございますのでご注意ください。

ディスクの取り扱いについて

- 右記マークの付いたコンパクトディスクをお使いください。
- 信号面をさわらないようにしてください。
- レーベル面に紙やシールなどを貼付したり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因となります。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。



■ディスクのお手入れ

- 柔らかい布でディスクの内側から外側方向へ軽く拭いてください。
- ディスクの清掃には、別売のディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をお勧めします。
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面を傷めることがあります。
- 汚れがひどい場合には柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。



■ディスクの保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場合や極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますのでご注意ください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

特長

本機はディスクでの使用で求められている機能と操作性をCDで再現し、さらにCDならではの機能を付加した、ディスク向けコンパクトディスクプレーヤーです。

イージーオペレーション

ディスク装着が素早く行えるトップローディング方式。アナログレコードのターンテーブルの感覚で扱えるジョグコントローラーやスライダーを装備しています。使用頻度の高いボタン類を大型にして、手元にレイアウトしました。

曲のつながりがとても簡単に行えます

メモリーとDSP(Digital Signal Processor)により、瞬時に再生をスタートできます(*1)。高分解能のスライダー(可変範囲±10%、ストローク100mm)で2つの曲のテンポを合わせ、大型ジョグダイヤルでビートのずれを合わせることができます(*2)。別売のDJ用ミキサー(DJM-500)と組み合わせると、ミキサーのチャンネルフェーダーやクロスフェーダーの操作から本機のフェーダースタートやバックキューが可能で。

デジタル技術でDJシーンが更に演出できます

スライダーで演奏のテンポを変えても、DSPでピッチを一定に自動調整でき、自然な感じで曲と曲のつながりができるマスターテンポ機能(*3)。設定したキューポイントを確認できるキューポイントモニター機能(*4)。演奏の経過時間や残り時間を直感的に把握できる、バーグラフ型の演奏位置表示。精密に正確なキューポイントを設定できるフレーム単位サーチ(75フレーム=1秒)。BPM(Beat Per Minutes)合わせが、より確実になる0.1%単位の正確な速度表示。

ピックアッププロテクター

ドアオープン時には、ピックアッププロテクターを閉じて、ピックアップを保護します。

防振フロート構造

DJのラフな操作方法でも音飛びしないように、衝撃の伝達経路を遮断する構造を採用しています。

(*1) 瞬時スタート

CDプレーヤーでは演奏スタンバイ(ポーズ)状態ではディスクが回転し、ピックアップは1トラックジャンプを繰り返しながら待機しているため、ポーズからプレイに移行する際に、最大0.3秒のタイムラグを生じる可能性があります。曲つなぎを行うためには、タイムラグを無くして瞬時にスタートする必要があります。このため、曲の始めの約0.7秒をメモリーに記憶し、スタート時にメモリーのデータを出力して瞬時の音出しを行います。0.7秒以降、曲を連続して演奏するために、曲データをメモリーの最後に連続的に追加して、リングメモリーとして使用します(再生はメモリーを通して行われます)。これにより約0.01秒の瞬時スタートが可能となりました。

また、曲(トラック)の開始位置ではなく、実際に音の始まる位置で待機するオートキュー機能も併用できます。

(*2) ジョグコントローラーによるビートサーチ

曲と曲をつなぐ時に、ふたつの曲のBPMとリズム(スピードとタイミング)を一致させるために、アナログレコードのターンテーブルのディスクを手で少し加速したり減速する動作をジョグコントローラーで実現しました。スライダーでテンポを合わせた後、ジョグダイヤルを時計方向に回すと最大+12.7%まで加速し、反時計方向に回すと最大-12.7%まで減速、ダイヤルの回転を停止するとスライダーで設定したテンポに戻ります。これにより、ビートのタイミングを合わせることができます。

(*3) マスターテンポ機能

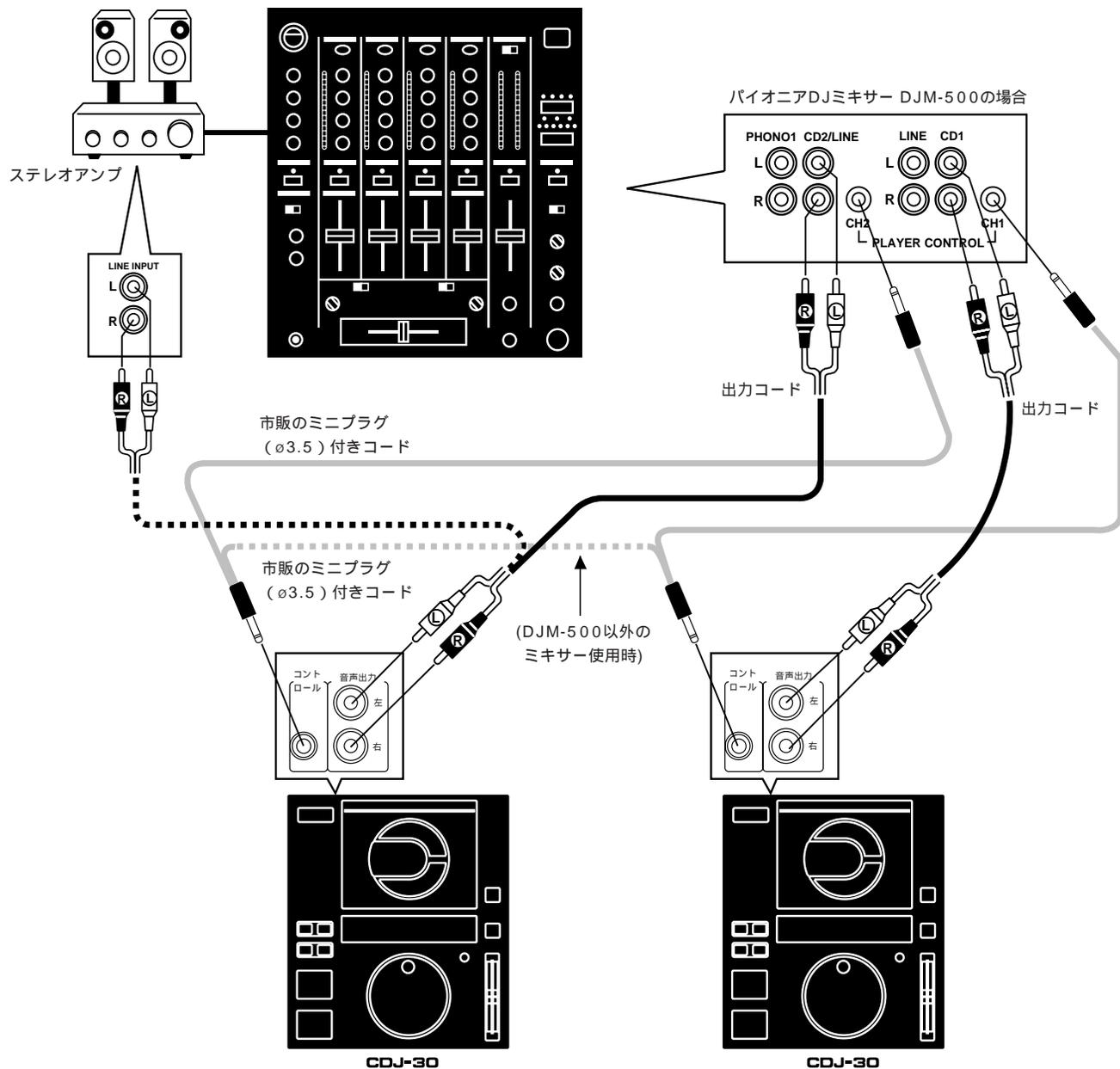
スライダーで演奏スピードを0.1%刻みで±10%まで変化できますが、スピード変化時に演奏ピッチ(音程)も同時に変化してしまい、ボーカル等が不自然になります。マスターテンポ機能をオンすると、DSPによりキーコントロール処理を行い、オリジナルピッチからの音程変化を打ち消します。これにより、スライダーでテンポを変えても、ピッチは変わらなくなります。

(*4) キューポイントモニター機能

キューポイントメモリーを行って、瞬時スタートの待機中に、ボタンを押すことにより、押してから10秒間キューポイントからの演奏を聞くことができます。ボタンを離せば、キューポイントに戻って待機します。

接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。



接 続

音声出力の接続

本機のAUDIO OUT端子とDJミキサーのライン入力端子を接続します。白のプラグはL(左)端子へ、赤のプラグはR(右)端子へつないでください。

- DJミキサーのMIC(マイク)端子とは接続しないでください。音が歪んだり、正常な演奏ができません。

コントロール端子の接続

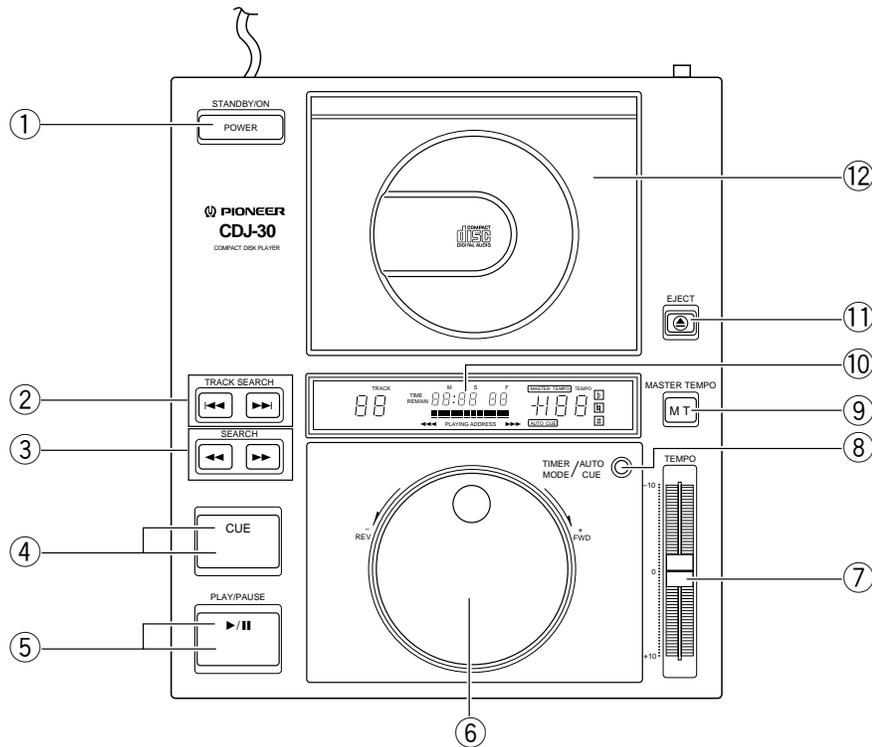
本機2台のCONTROL端子を市販のミニプラグ(φ3.5)付きコード(抵抗なし)で接続します。これにより、本機2台による交互演奏を自動的に行うことができます(12ページ参照)。

また、別売のDJミキサーDJM-500と本機のCONTROL端子を接続するとDJミキサーの操作によりフェーダースタートやバックキューなどができます。接続と操作については、DJミキサーDJM-500の取扱説明書をご覧ください。

電源コードの接続

電源コードを壁の電源コンセントまたはアンプの予備電源コンセントへ接続します。

各部の名称と働き



① 電源スイッチ(POWER)

② トラックサーチボタン

(TRACK SEARCH : ◀◀ , ▶▶)

1 回押す毎に指定方向の曲の頭出しをします。

▶▶ : 次の曲 ◀◀ : 演奏中の曲を含めた前の曲

③ サーチボタン (SEARCH : ◀◀ , ▶▶)

ボタンを押している間だけ早送り (▶▶) / 早戻し (◀◀) をします。

④ キューボタン (CUE) とインジケータ

3つの機能があります。

【キューポイントメモリー】

ポーズ状態で押すとその位置がメモリーされ、演奏待機状態となります。新しくキューポイントをメモリーすると、それまでのキューポイントは消去されます。

【バックキュー】

演奏状態で押すと、音声をミュートしてキューポイントで待機します。

【キューポイントモニター】

バックキュー後またはキュースタンバイ中に押すと、キューポイントからの音声をボタンを押すと最大10秒間まで、聞くことができます。

キューポイントがメモリーされるとキューボタンのCUEインジケータが点灯します。ポーズ状態で新たなキューポイントが入力可能な状態の時にはインジケータは点滅します。

⑤ プレイ / ポーズボタン (▶ / ||) と インジケータ

ボタンを押す毎に演奏とポーズを繰り返します。

インジケータは、演奏時に点灯し、ポーズ時に点滅します。

- ポーズ状態で20分間以上操作しないと、自動的にディスクの回転が停止します。このときプレイ / ポーズボタンを押せば演奏を再開します。

⑥ ジョグダイヤル(+ FWD / - REV)

3つの機能があります。

【ビートサーチ】

演奏中にゆっくり (毎秒2回転以下) と回転させた場合、ジョグを回転する速さに比例してテンポが変化します。時計方向に回すとテンポが速くなり、反時計方向に回すと遅くなります。

【マルチスピードサーチ】

演奏中に早く (毎秒2回転以上) 回転させた場合、音声を出しながらか早送り / 早戻しを行います。時計方向に回すと早送りになり、反時計方向に回すと早戻しになります。演奏速度はジョグの回転速度に比例して変化します。

【フレームサーチ】

演奏中にプレイ / ポーズボタンでポーズにしてからジョグを回転させた場合、1フレーム単位で頭出しできます (1秒 = 75フレーム)。

⑦ テンポ調整つまみ (TEMPO)

演奏テンポが調整できます。

センタークリック位置 (通常演奏テンポ) を中心に、手前に動かすと速くなり、奥に動かすと遅くなります。

⑧ タイムモード/オートキューボタン (TIME MODE/AUTO CUE)

【時間表示切換】

押すたびに、表示部の時間表示が1曲の経過時間 (TIME) と残り時間 (REMAIN) に切り換わります。

【オートキュー機能のオン/オフ切換】

ボタンを2秒以上押し続けるとオートキュー機能 (*1) をオン/オフします。オン時は、表示部の AUTO CUE インジケータが点灯します。

(*1) オートキュー機能: ディスクをセットした時とトラックサーチの時に、実際に音声が始まる位置でキューポイントメモリーを自動的に実行する機能です。

⑨ マスターテンポボタン (MASTER TEMPO : MT)

押すたびに、マスターテンポ機能 (*2) をオン/オフします。オンの時は、表示部の MASTER TEMPO インジケータが点灯します。

(*2) マスターテンポ機能: テンポ調整つまみ (⑦) で演奏スピードを変えても、音程を一定に保つ機能です。

⑩ 表示部

⑪ イジェクトボタン (EJECT : ▲)

ボタンを押すと、ディスク装着部のドアが開きます。

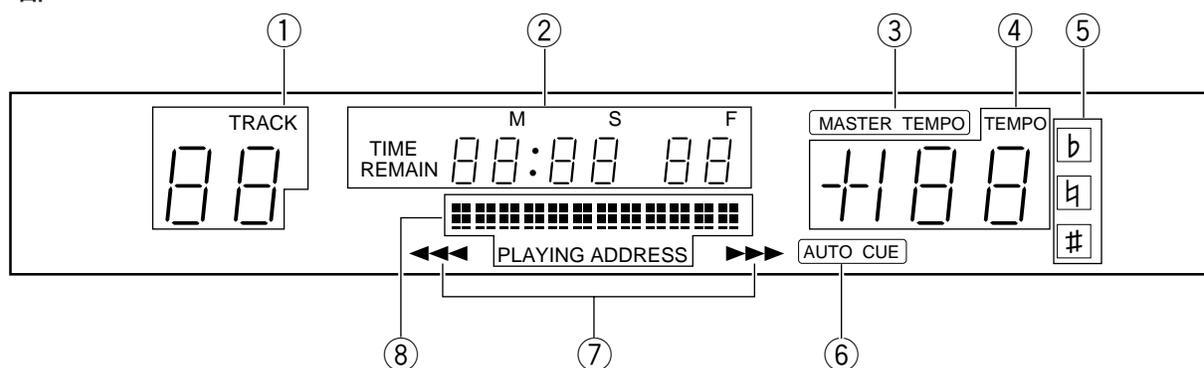
- 演奏中に押すとディスクの回転が止まってから、ドアが開きます。

⑫ ディスク装着部ドア

イジェクトボタンを押すと開きます。閉じる時は手で押してください。

各部の説明

表示部



① トラックナンバー表示 (TRACK)

演奏中のトラックナンバーを表示します。

② 時間表示 (TIME/REMAIN)

現在の演奏曲の経過時間 (TIME) または演奏曲の残り時間 (REMAIN) を分 (M) ・秒 (S) ・フレーム (F) で表示します。

③ マスターテンポインジケータ (MASTER TEMPO)

マスターテンポ機能をオンすると点灯します。

④ 演奏速度表示 (TEMPO)

テンポ調整つまみの操作によるテンポの変化を、0.1% ステップで ±10% まで表示します。

⑤ ピッチ変化インジケータ (b、#)

b : 音程が下がっていることを示します。

♯ : 標準の音程であることを示します。

: 音程が上がっていることを示します。

⑥ オートキューインジケータ (AUTO CUE)

オートキュー機能オン時に点灯します。

⑦ ジョグダイヤル操作表示 (◀◀◀、▶▶▶)

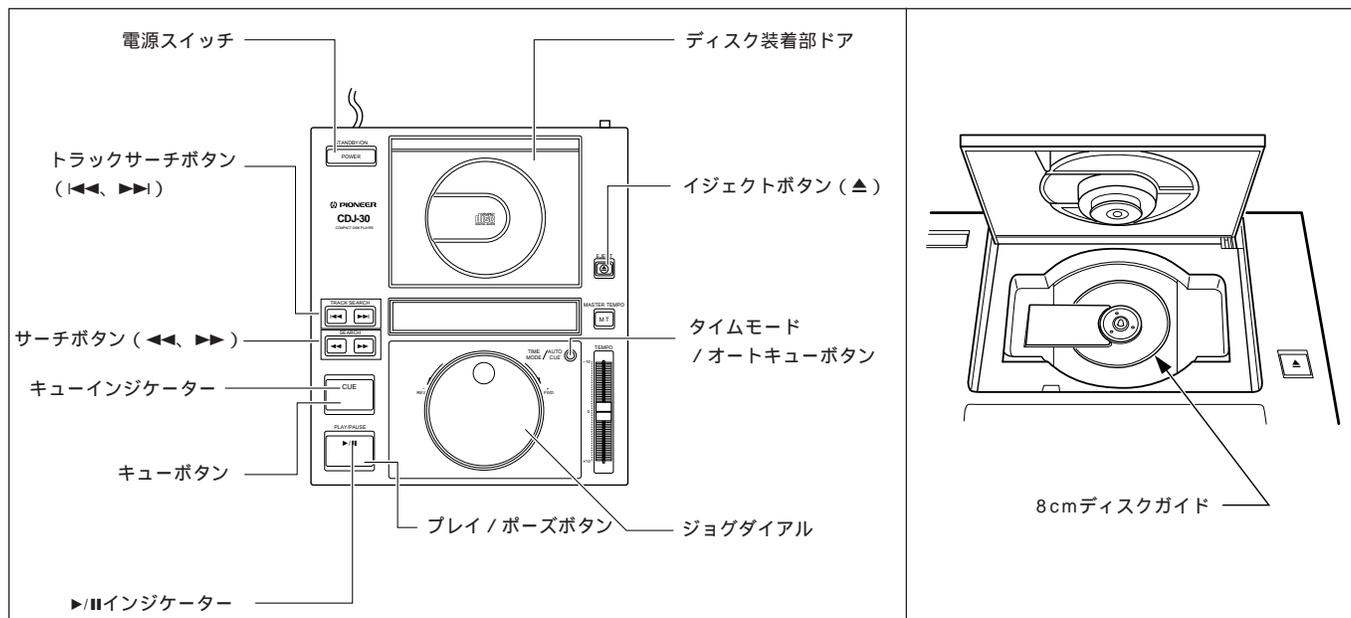
ジョグダイヤルの回転方向と回転速度に従って、順次点灯します。

⑧ 演奏位置表示 (PLAYING ADDRESS)

演奏曲の経過時間や残り時間を直感的に把握できるように、1曲がフルスケールのバーグラフとして表示します。

- ディスクが無い時 消灯
- 経過時間表示の時 全消灯の左端から順次点灯
- 残り時間表示の時 全消灯の左端から順次消灯
- 曲の残りが15秒以下 点滅

基本操作



基本再生操作

オートキュー機能オン時（表示部のAUTO CUE インジケータ点灯）の基本再生操作です。

1 イジェクトボタン (▲) を押します。

2 ディスクを入れます。

- ディスクはレーベル面を上にして、中央に置いてください。8 cmディスクの場合はガイド（くぼみ）に合わせて中央に置いてください。
- 装着できるディスクは1枚のみです。

3 ドアを手で閉めます。

4 プレイ / ポーズボタン (▶ / ||) を押します。

- キューインジケータ（CUE）が点灯してから押してください。

1曲の演奏を終了すると、次の演奏曲の頭出しをします。キューインジケータ（CUE）が点灯し、▶ / ||インジケータが点滅して、演奏待機状態になります。プレイ / ポーズボタン (▶ / ||) を押すと次曲の演奏がスタートします。

演奏を終了するには

イジェクトボタン (▲) を押すと、演奏を終了し、ドアが開きます。

演奏を一時停止するには

演奏中にプレイ / ポーズボタン (▶ / ||) を押すと、▶ / ||インジケータとキューインジケータが点滅し、演奏を中断します。もう1度プレイ / ポーズボタンを押すと、▶ / ||インジケータが点灯し、演奏を再開します。

ポーズモード中も演奏音がとぎれとぎれに出力されます。音を出したくない時はオーディオミキサーの出力レベルを下げてください。

キューポイントがすでに設定されている（キューボタンのCUEインジケータが点灯している）場合、キューボタンを押すと、キューポイントでポーズになります。（10ページ、「キューポイントの設定」を参照）

曲の頭出しをするには

【トラックサーチボタン (|◀◀、▶▶) による操作】

▶▶または|◀◀ボタンを1回押す毎に、指定方向の曲の頭出しをします。

- 押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が早くなります。
- 最初の曲（トラック 1）の始めで|◀◀を押すと最終曲をサーチします。
- 最終曲から▶▶を押すと最初の曲（トラック 1）をサーチします。

オートキュー機能がONの時は曲の直前で演奏待機状態になります。プレイ / ポーズボタン (▶ / ||) を押すと演奏がスタートします。

フレーム単位で頭出しするには

【ジョグダイヤルによる操作】

演奏中にプレイ/ポーズボタンを押して一時停止状態にし、ジョグダイヤルを回すと、1フレーム単位（75フレーム＝1秒）で頭出しできます。

- ジョグダイヤルを時計方向に回すとプラス方向にサーチし、反時計方向に回すとマイナス方向にサーチします。
- ジョグダイヤルを1回転すると75フレーム送ります。
- ジョグダイヤルの回転速度が、毎秒0.8～1.2回転の範囲では、通常演奏の音声を得られます。

【サーチボタンによる操作】

一時停止状態でサーチボタン（◀◀、▶▶）を押すと、押す度に1フレームずつ指定の方向へ送ります。

早送り/早戻しをするには

【サーチボタン(◀◀、▶▶)による操作】

▶▶ボタンを押している間、早送りします。◀◀ボタンを押している間、早戻しします。

【ジョグダイヤルによる操作】

演奏中に、ジョグダイヤルを毎秒2回転以上の速さで回転すると、音声を出しながら早送り/早戻しを行います。

オートキュー機能をオン/オフするには

タイムモード/オートキューボタンを2秒以上押し続けるとオートキュー機能をオン/オフできます。

表示部のオートキューインジケータ（AUTO CUE）が点灯するとオンです。

オートキュー機能をオフした場合の再生操作

1 イジェクトボタン(▲)を押します。

2 ディスクを入れます。

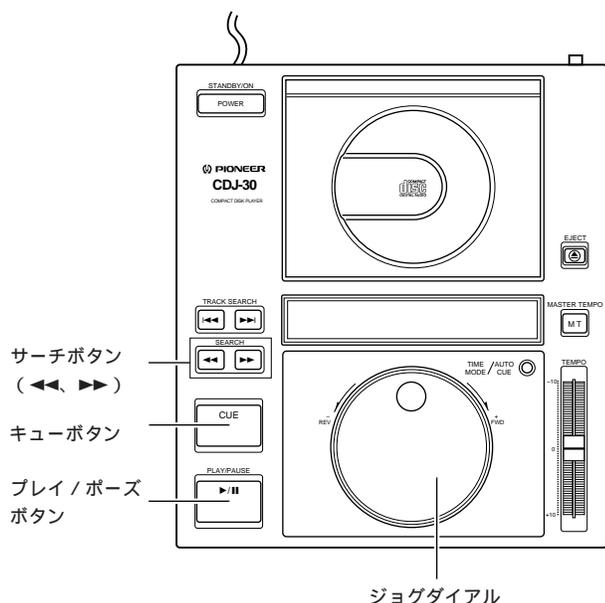
- ディスクはレーベル面を上にして、中央に置いてください。8 cmディスクの場合はガイド（くぼみ）に合わせて中央に置いてください。
- 装着できるディスクは1枚のみです。

3 ドアを手で閉めます。

- 1曲目から演奏が自動的に始まります。
- オートキュー機能がオフの場合、1曲目を終わっても停止せずに、順番に演奏を続けます。
- 最終曲の演奏が終ると、演奏を終了します。

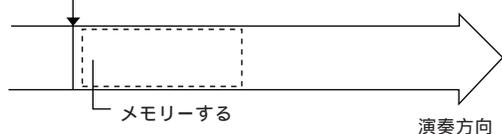
応用操作

キューポイントの設定



キューポイントの設定

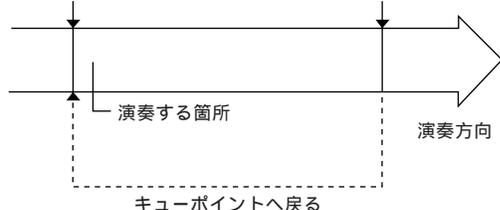
ポーズモードでキューボタンを押す



キューポイントの確認

①プレイ/ポーズボタンを押す

②キューボタンを押す



キューポイントをメモリーしておく、キューボタンを押した時にキューポイントでスタート待機状態にすることができます。

1 サーチボタン(◀◀、▶▶)を押して、音を聞くか、または表示部の演奏位置表示(バーグラフ表示)を見て大体の位置を決め、プレイ/ポーズボタン(▶/||)を押して一時停止状態にします。

2 ジョグダイヤルをゆっくり回転して、目的の位置を探します。

- キューポイントを、音声を聞いて決めるときは、演奏を開始したい音声の直前までジョグダイヤルで戻します(聞こえた音声の直後がキューポイントになります)。

3 フレームナンバー、または音声が目次の頭出しポイントになったら、キューボタンを押します。

- 音声ミュートされ、キューインジケータが点灯したらキューポイントメモリーは完了です。
- 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアされます。

キューポイントの確認

- キューポイントのメモリー後、キューボタンを押すと、キューポイントから最大10秒間音声が演奏され、頭出し位置を確認できます。

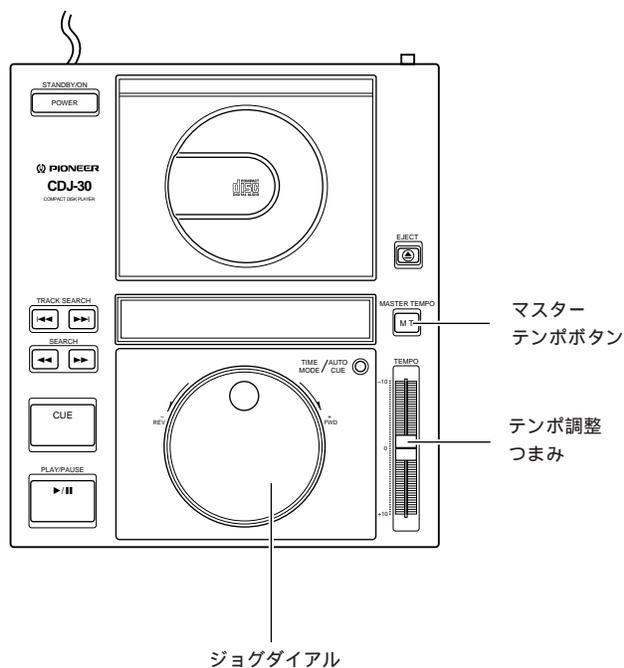
また、プレイ/ポーズボタンを押して頭出し位置の音を確認した後、キューボタンを押すとキューポイントに戻ります。キューポイントからプレイして、約10秒以内では瞬時にキューポイントに戻り、プレイできます。

キューポイントの修正

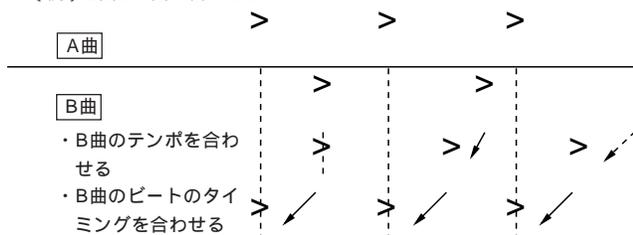
- キューポイントで待機中にサーチボタン(◀◀または▶▶)を押すと修正モードになります。

- 修正モードで、ジョグダイヤルを回すと、方向と回転量に応じて移動します。また、サーチボタン(◀◀または▶▶)を押すと、押す度に1フレームずつ指定の方向へ移動します。設定したいポイントまで移動させ、キューボタンを押すと、そこが新しいキューポイントになります。

2台のプレーヤーを使った曲つなぎ



(例) B曲をA曲に合わせる



【2つの曲のテンポ（演奏速度）を合わせる】

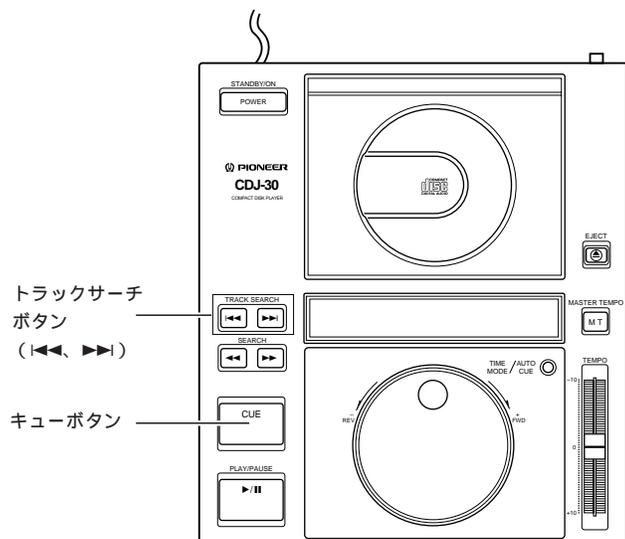
- 1 2台のプレーヤーで演奏を始めます。
- 2 テンポを合わせたい方の曲を演奏しているプレーヤーのテンポ調整つまみを使って、2つの曲の演奏のテンポを合わせます。
 - あらかじめ演奏する曲のBPM(Beat Per Minutes)や、BPMとテンポの関係が判っている場合は、表示部の（演奏速度）表示（TEMPO）を見ながら、早く確実に調整できます。
 - オリジナルのテンポに戻すときは、つまみをセンタークリック位置にします。
 - マスターテンポ機能をオンにしておく（マスターテンポボタンを押して表示部のMASTER TEMPOインジケータを点灯させる）、テンポを変えても音程が変わらず、自然な曲つなぎができます。

【2つの曲のビートのタイミングを合わせる】

2つの曲のテンポが同じでも、ビートのタイミングが違っていると曲のつなぎ目が不自然になります。ビートサーチ機能を使ってビートのタイミングのずれを合わせる操作です。

- 1 2台のプレーヤーで2つの曲を同じテンポで演奏します。
- 2 ビートを合わせたい方の曲を演奏しているプレーヤーのジョグダイヤルをゆっくり回して、2つの曲のビートのタイミングを合わせます。
 - 追いかけて合わせる場合は、ジョグダイヤルを時計方向にゆっくり回します。演奏のテンポが徐々に早くなります。ビートが一致した時点で回すのを止めると、元のテンポに戻ってビートが一致した状態が維持されます。
 - 追いつくの待つ場合は、ジョグダイヤルを反時計方向にゆっくり回します。演奏のテンポが徐々に遅くなります。ビートが一致した時点で回すのを止めると、元のテンポに戻ってビートが一致した状態が維持されます。

2台のプレーヤーを使ったリレープレイ



2台のプレーヤーのコントロール (CONTROL) 端子を接続することにより、一方のプレーヤーの演奏が終了すると、他方のプレーヤーの演奏を開始することができます。ディスク交換と選曲操作を行うことにより、聞きたい曲を次々と演奏することができます。

- 2台のプレーヤーとオーディオミキサーを接続し、プレーヤーのコントロール端子どうしをミニプラグ (φ3.5) 付きコードで接続します。
- 2台のプレーヤーのオートキュー機能はオンにします (表示部のAUTO CUEインジケーターが点灯)。
- オーディオミキサーのフェーダーコントロールはセンター位置にしてください。

1 先に演奏するプレーヤーの演奏を開始します。

2 次に演奏するプレーヤーにディスクを装着し、トラックサーチボタンで選曲するかキューポイントを設定します。

- 演奏中の曲が終了すると、待機中のプレーヤーが自動的に演奏を開始します。始めに演奏していたプレーヤーは次の曲の始めの位置でポーズ状態になります。この繰り返しにより、自動的に2台のプレーヤーでの交互演奏ができます。
- 待機中のプレーヤーのディスクを交換して選曲すれば、聞きたい曲を次々と演奏することができます。
- 待機中のプレーヤーでキューポイントを設定しておくと、希望の曲の希望のポイントにリレーすることができます。(10ページ「キューポイントの設定」参照)

ご注意

- 2台のプレーヤーの音声出力端子を、同じオーディオミキサーに接続していない場合には、うまくリレープレイできないことがあります。
- 演奏中のプレーヤーの電源が切れた場合には、もう一方のプレーヤーが演奏をはじめることがあります。

DJミキサーによる本機の操作

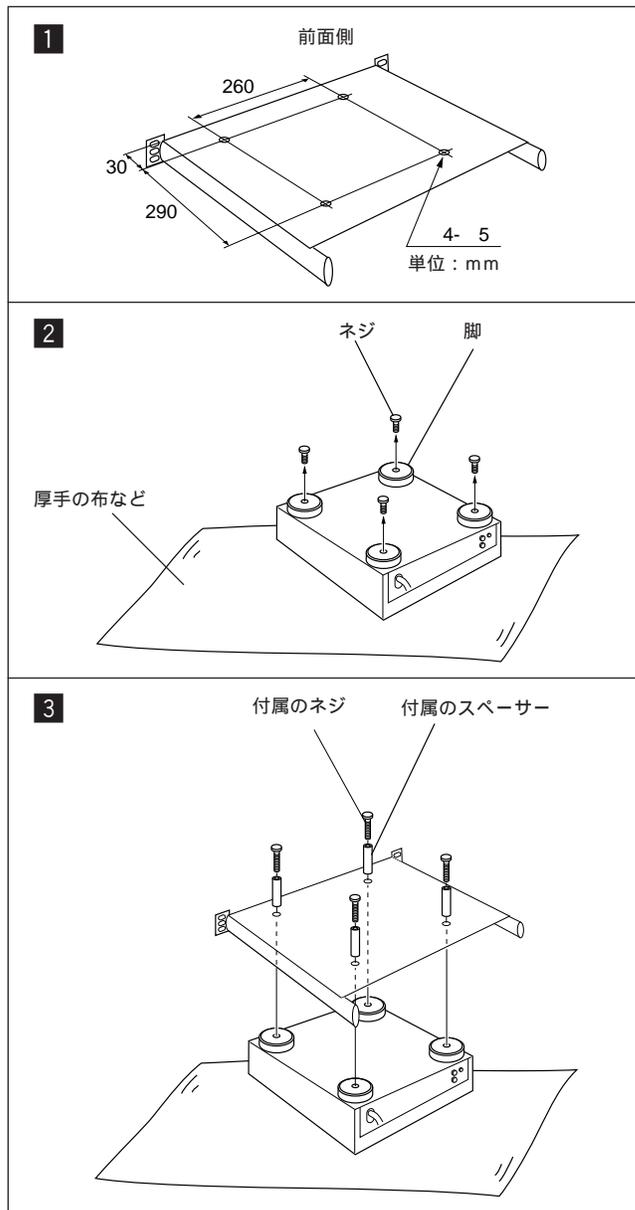
本機のコントロール端子 (CONTROL) とDJミキサーDJM-500 (別売) のコントロール端子 (CONTROL) を接続することにより、DJミキサーのチャンネルフェーダーやクロスフェーダーの操作により、プレーヤーのフェーダースタートやバックキューができます。

接続と操作方法については、DJミキサーDJM-500の取扱説明書をご覧ください。

ラックへの据え付け

市販のラックの棚板へプレーヤーを固定して使用する場合には次の手順でネジ止めしてください。
棚板は厚さ1.6 mm ~ 2 mm のものをご使用ください。

- 1 図に示した寸法に従って、棚板に4カ所の穴（直径5mm）をあけます。
- 2 プレーヤーを裏返しにして、脚の中央のネジをはずします。
 - はずしたネジは保存してください。棚板から取り外して使う場合に元のように締めてください。
- 3 棚板をのせ、付属のスペーサーとネジで固定します。



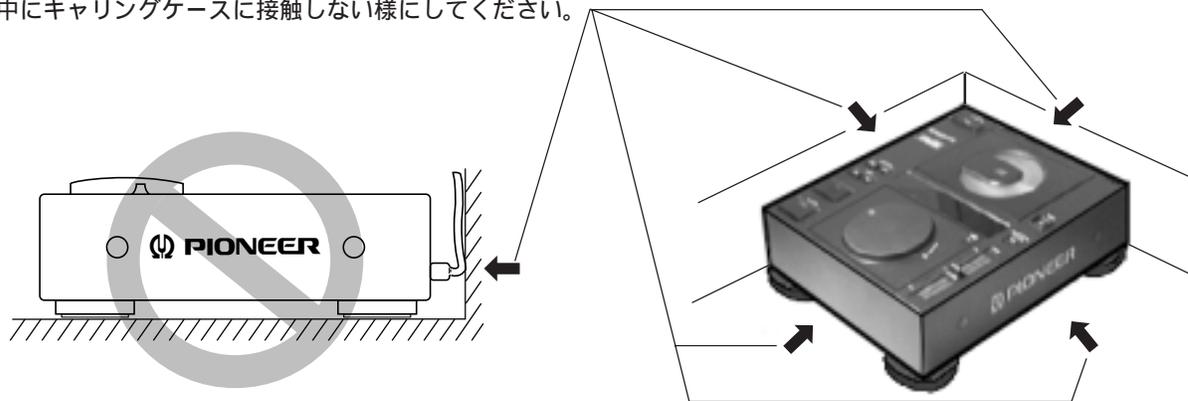
応
用
操
作

キャリングケースを使用する場合の注意

CDJ-30をキャリングケース等に収納して使用する場合は下記の点に注意して使用してください。

- プレイする状態では、輸送用クッションがプレーヤーや電源コード、オーディオコードに接触しないようにしてください。振動が製品の脚以外から伝わると、音飛びの原因になる場合があります。

プレイ中にキャリングケースに接触しないようにしてください。



故障？ ちょっと調べてください

故障かな？ と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障と思われています。また、本システム以外の原因も考えられます。同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。

下の項目をチェックしても直らない場合はお買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

症状	考えられる原因	処置
イジェクトボタンを押してもディスク装着部ドアが開かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードが繋がっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コンセントへつなく。
演奏をはじめてもすぐに停止してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの表と裏を逆にして装着している。 ● ディスクのくもりなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ● レーベル面を上にして装着する。 ● ディスクのくもりをふき取る。
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 出力コードが正しく接続されていない、またははずれている。 ● オーディオミキサーを正しく操作していない。 ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● プレーヤーがポーズモードになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しく接続する。 ● オーディオミキサーのスイッチ類と音量調整を確認する。 ● 汚れをふき取って接続する。 ● プレイ/ポーズボタンを押して、演奏する。
音が歪む、雑音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 出力コードが正しく接続されていない。 ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● テレビからの影響を受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● オーディオミキサーのライン入力端子へ接続する。マイク端子へは接続しないでください。 ● 汚れをふき取って接続する。 ● テレビの電源を切る。または本機を離す。
特定のディスクで大きなノイズが出る。演奏が中断してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクに大きなキズやそりがある。 ● ディスクが極端に汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクを交換する。 ● ディスクの汚れをふき取る。
オートキュー機能をオンにしている、トラックサーチが終了しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲間の無音部分が長い場合にはトラックサーチも長くなる場合がある。 ● 無音部分が10秒以上続くような場合、オートキュー機能がオフでないと演奏しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● タイムモードボタンを2秒以上押しつづけて、オートキュー機能をオフにする。
演奏中にキューボタンを押しても、バックキュー機能が働かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● キューポイントを設定していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● キューポイントを設定する。(10ページ参照)
テレビの画面が乱れる、FM放送に雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機が影響している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の電源を切るか、テレビから離す。
電源ONの状態でもディスクが停止している。	<ul style="list-style-type: none"> ● ポーズ状態で20分間以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● プレイ/ポーズボタンを押すと演奏を開始します。また、イジェクトボタンを押すとドアを開きます。

静電気等、外部からの影響により、本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

エラー表示

正常に動作できない場合には、表示部にエラーコードを表示します。下に示す表で確認して処置をしてください。下表に無いエラーコードが出た時や、処置をしても同じエラーコードが出る場合には、お買上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E-72	TOC READ ERROR	20秒以上かかってもTOCデータが読み取れない。	ディスクにひび割れがある。 ディスクを交換する。
E-83	PLAYER ERROR	正常に演奏できないディスクが装着されている。	ディスクが汚れている。 ディスクをクリーニングする。
E-91	MECHANICAL TIME OUT	規定時間の内にメカ動作が終了しなかった。	ディスク装着部に異物が入っている。 異物を取りのぞく。

仕様

1. 一般

形式 コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
 使用ディスク コンパクトディスク
 電源 AC 100 V, 50/60 Hz
 消費電力 11 W
 動作温度 +5 ~ +35
 動作湿度 5 ~ 85% (結露のないこと)
 重量 4.0 kg
 最大外形寸法
 320 (幅) × 362.1 (奥行) × 98.5 (高さ) mm

2. オーディオ部

周波数特性 4 Hz ~ 20kHz (EIAJ)
 SN比 106 dB 以上 (EIAJ)
 ダイナミックレンジ 96 dB 以上 (EIAJ)
 チャンネルセパレーション 98 dB 以上 (EIAJ)
 全高調波歪率 0.004 %以下 (EIAJ)
 出力電圧 2.0 V
 チャンネル数 2チャンネル (ステレオ)

3. その他の端子

コントロール端子 ミニジャック

4. 機能

- トップローディング式ディスクホルダー
- ピックアッププロテクター
- スライド式スピードコントロール
- 瞬時スタート
- マスターテンポコントロール

- フェーダースタート (注)
- フェーダーストップ (バックキュー) (注)
- リレー再生 (CONTROL 端子を使用)
- オートキュー (オン/オフ)
- キューポイントモニター
- バックキュー
- ジョグコントローラーによるビートサーチ
- ジョグコントローラーによるフレームサーチ
- ジョグコントローラーによるマニュアルサーチ
- 高速マニュアルサーチ
- サイクリック式トラックサーチ
- TIME表示モード切換 (TIME/REMAIN)
- オートスピンドルストップ

(注)パイオニアのDJミキサー(DJM-500)と組み合わせた場合。

5. 付属品

- 取扱説明書 1
- 安全上のご注意 1
- 出力コード 1
- ラックマウント用ネジ 4
- ラックマウント用スペーサー 4
- 保証書 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービスについて

保証書（別に添付してあります。）について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめ取扱店から受取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

保証期間について

保証期間は、取扱説明書の注意にしたがった使用で、ご購入日より1年間です。

次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。

本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失（逸失利益）は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。

修理を依頼される時

もう一度、取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

保証期間中は

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お近くのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。保証書の規定にしたがって修理致します。

連絡していただきたい内容

ご住所・ご氏名・電話番号
製品名・型番・ご購入日
故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
訪問ご希望日
訪問先までの道順と目標（建物、公園など）

保証期間が過ぎているときは

最寄りのパイオニアサービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店又は、最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。

所在地、電話番号は別添「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

愛情点検



長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電気が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。